

2019年3月期 第1四半期決算説明会

Nobody But Jimny



スズキ株式会社
2018.8.2

第1四半期実績

- **連結業績** … **増収増益、売上高・各利益過去最高※1**

売上高	9,875億円、前年同期比+13.6%	2期連続増収
営業利益	1,165億円、前年同期比+36.9%	7期連続増益
経常利益	1,331億円、前年同期比+33.8%	2期連続増益
四半期純利益※2	859億円、前年同期比+31.3%	3期連続増益

 - ・増収…日本での四輪車の販売増、インドでの四輪車・二輪車の販売増等
 - ・増益…アジア、日本、欧州での損益改善等

- **四輪世界販売** … **862千台（前年同期比+16.3%）で過去最高※1**
 - ・インド、日本、パキスタン、欧州、インドネシア等で増加

- **二輪世界販売** … **423千台（前年同期比+11.9%）**
 - ・インド、フィリピン等で増加

業績予想

- **期初予想を据置き**

※1. 第1四半期決算公表(2003年6月期)以来、過去最高 ※2. 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

増収増益、売上高・各利益過去最高※

(億円)	当第1四半期 (’18/4-6)	前年同期 (’17/4-6)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	9,875	8,693	+1,182	+13.6%
国内売上	2,963	2,669	+294	+11.0%
自 社	2,702	2,426	+276	+11.4%
O E M	261	243	+18	+7.4%
海外売上	6,912	6,024	+888	+14.7%
営業利益 (利益率)	1,165 (11.8%)	851 (9.8%)	+314	+36.9%
経常利益 (利益率)	1,331 (13.5%)	995 (11.4%)	+336	+33.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	859 (8.7%)	654 (7.5%)	+205	+31.3%

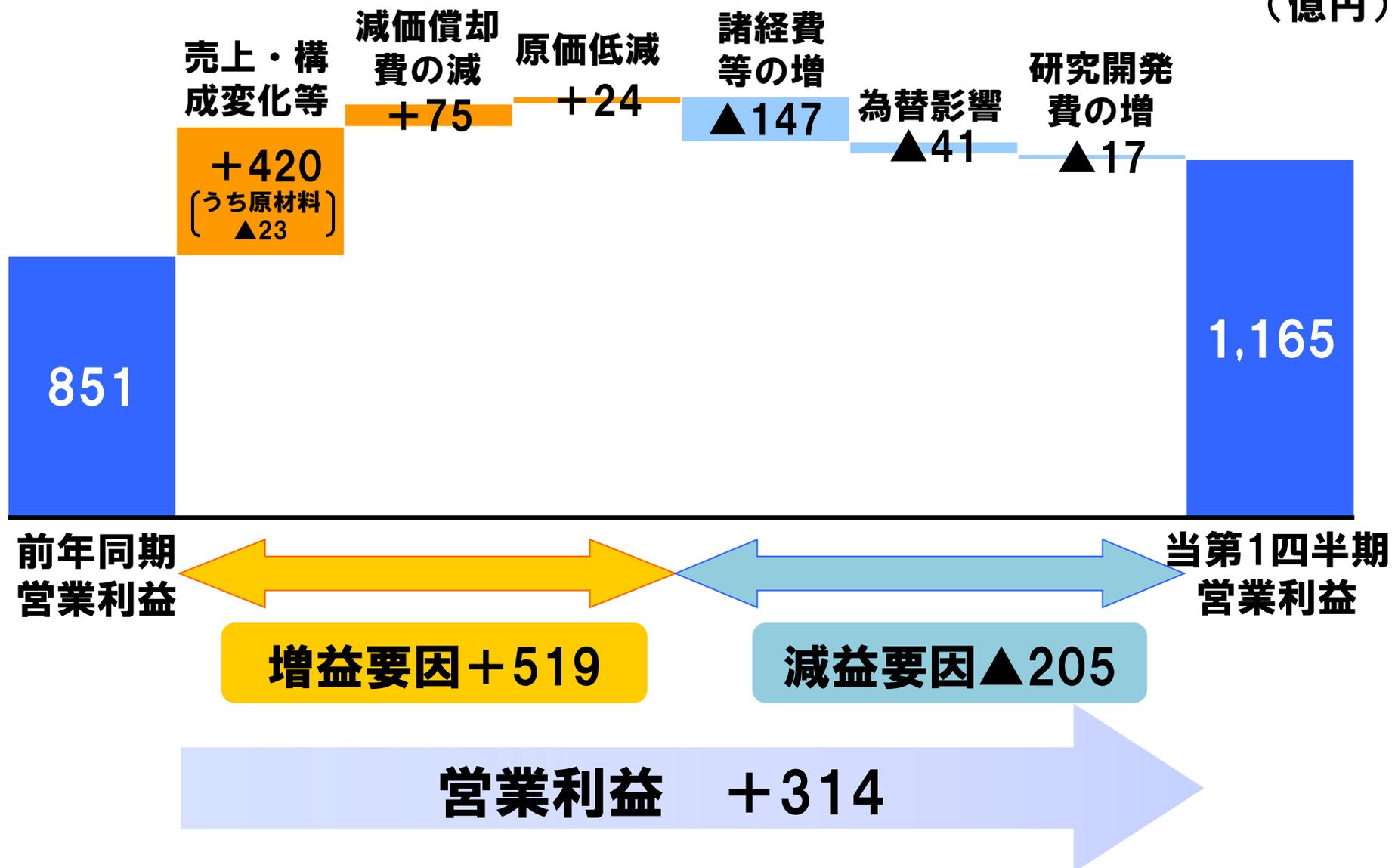
※ 第1四半期決算公表(2003年6月期)以来、過去最高

国内・海外・連結とも過去最高※

(億円)	四輪			二輪			マリン他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	2,872	2,574	+298	55	55	▲0	36	40	▲4	2,963	2,669	+294	
自 社	2,611	2,331	+280	55	55	▲0	36	40	▲4	2,702	2,426	+276	
OEM	261	243	+18							261	243	+18	
海外計	6,134	5,299	+835	588	561	+27	190	164	+26	6,912	6,024	+888	▲204
欧州	1,201	1,106	+95	121	145	▲24	54	56	▲2	1,376	1,307	+69	+74
北米	4	4	▲0	83	94	▲11	98	73	+25	185	171	+14	▲2
アジア	4,335	3,644	+691	309	249	+60	17	13	+4	4,661	3,906	+755	▲278
インド	3,355	2,769	+586	128	101	+27	1	1	+0	3,484	2,871	+613	▲212
"以外	980	875	+105	181	148	+33	16	12	+4	1,177	1,035	+142	▲66
その他	594	545	+49	75	73	+2	21	22	▲1	690	640	+50	+2
総合計	9,006	7,873	+1,133	643	616	+27	226	204	+22	9,875	8,693	+1,182	▲204
内、為替 換算影響			▲194			▲11			+1			▲204	

注、当期…2018年4～6月期、前期…2017年4月～6月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等
 ※第1四半期決算公表(2003年6月期)以来、過去最高

(億円)



+420
〔うち原材料〕
▲23

増益要因 +519

減益要因 ▲205

営業利益 +314

	当第1四半期 (’18/4-6)	前年同期 (’17/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	109円	111円	▲2円	▲3億円
ユーロ	130円	122円	+8円	+28億円
インドルピー	1.64円	1.74円	▲0.10円	▲46億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.79円	0.84円	▲0.05円	▲8億円
タイバーツ	3.42円	3.24円	+0.18円	▲3億円
その他	—	—	—	▲9億円 ※
計				▲41億円

※パキスタンルピー▲10億円、メキシコペソ▲4億円、ポンド+5億円、他

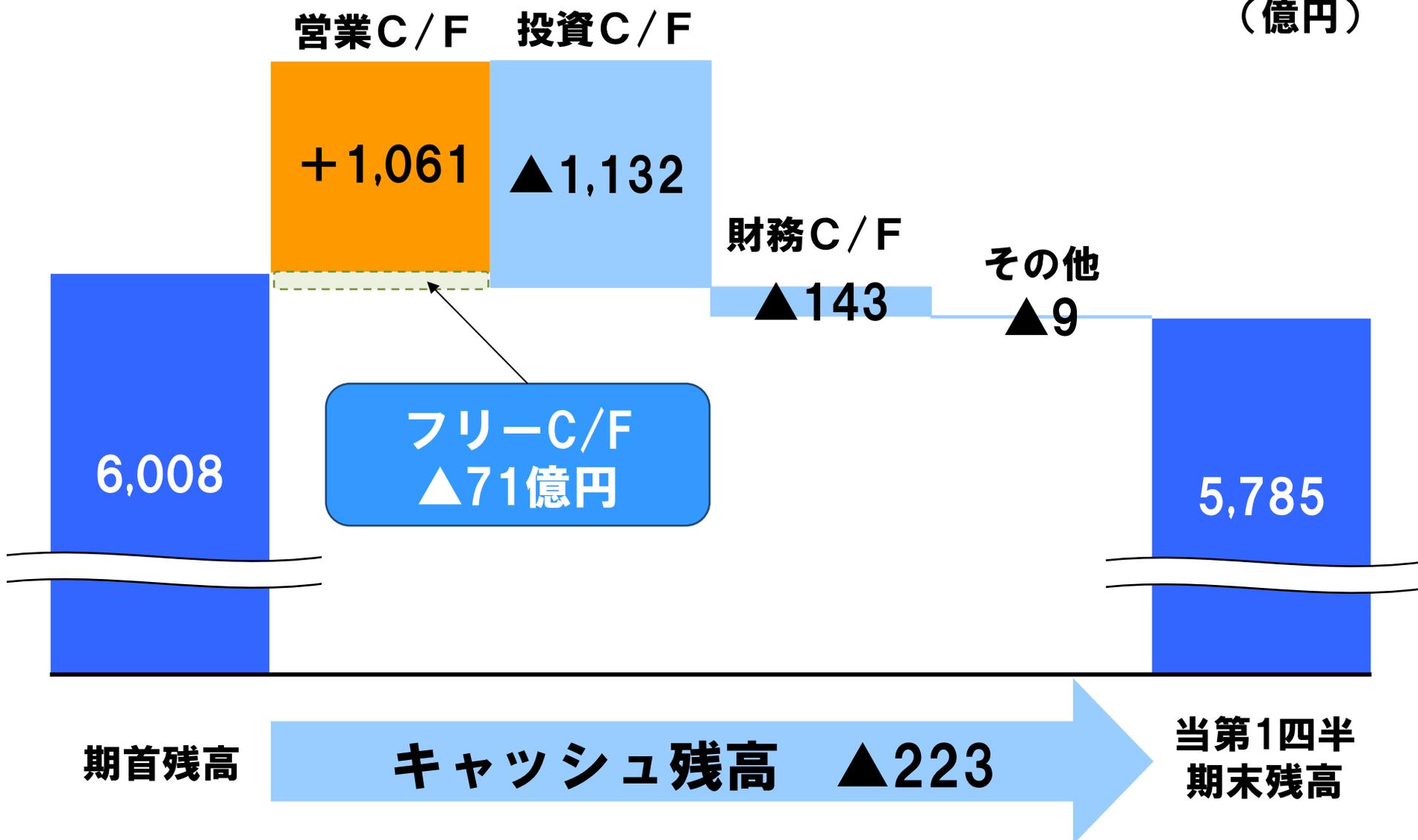
連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第1四半期 ('18/4-6)	前年同期 ('17/4-6)	増 減
(当社単独)	98	101	▲3
(子会社)	682	316	+366
設備投資	780	417	+363
減価償却費	327	402	▲75
研究開発費	317	300	+17

	当第1四半期末 ('18/6末)	前年同期末		前期末	
		('17/6末)	増 減	('18/3末)	増 減
有利子負債残高	5,859	6,716	▲857	5,779	+80

(億円)



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

《四輪》

売上高

+1,133 (+14.4%)

9,006

7,873

Spacia



SWIFT



営業利益

+300 (+37.8%)

1,094

794

前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6

《二輪》

売上高

+27 (+4.4%)

Access125
(India)



616

V-Strom650XT



643

営業利益

+1 (+4.8%)

20

21

前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6

《マリン他》

売上高

+22 (+10.8%)

DF350A



204

226

営業利益

+13 (+35.3%)

37

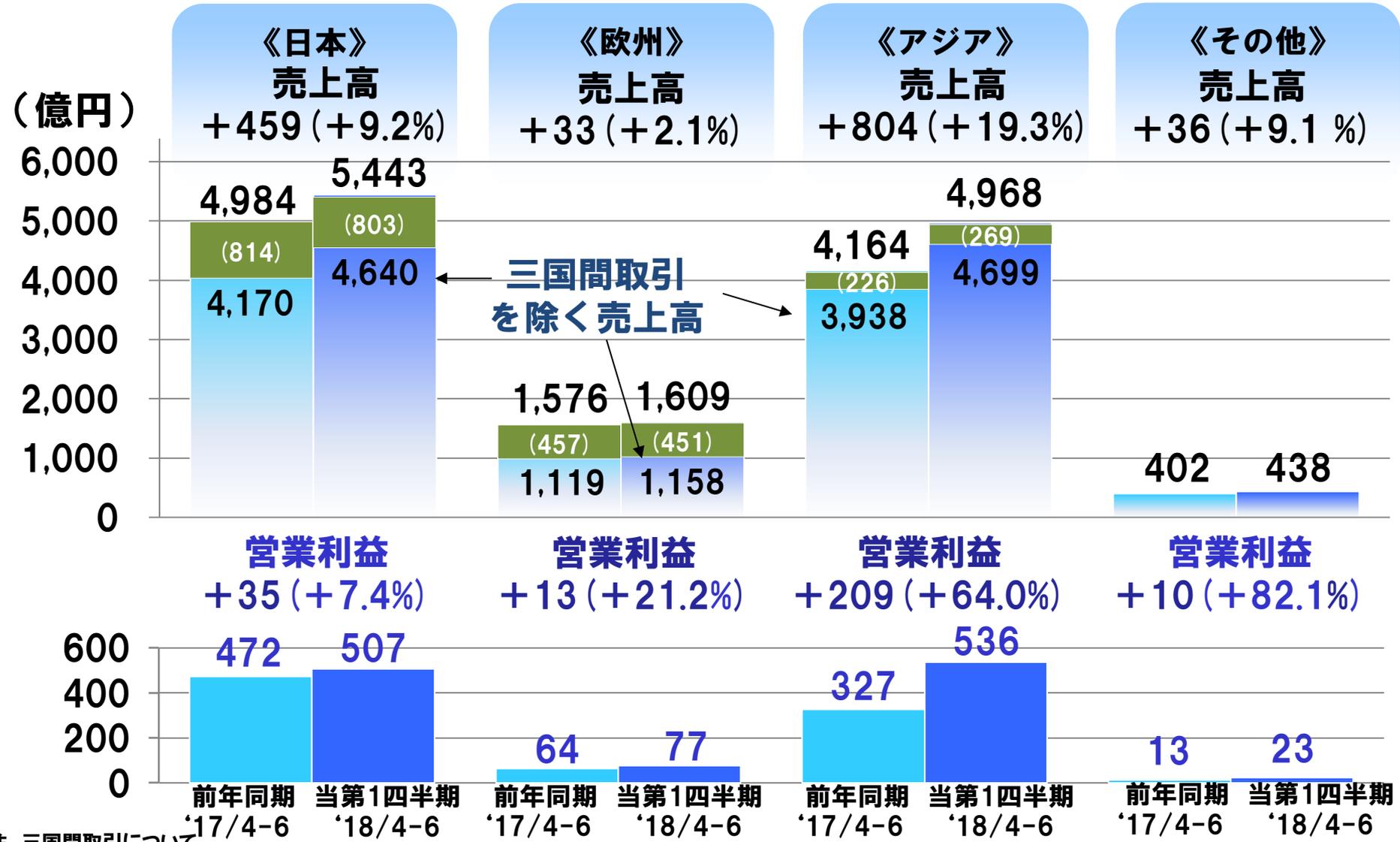
50

前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6



連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について
従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。

	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('18/6末)	('17/6末)	増減	('18/3末)	増減
連結 子会社数	131社	136社	▲5社	131社	±0社
持分法適用 関連会社数	29社	33社	▲4社	31社	▲2社
従業員数	67,151人	64,687人	+2,464人	65,179人	+1,972人

期初予想を据置き

（億円）

	通期予想		
	当期予想	前期実績	増減
売上高	38,000	37,572	+428
営業利益 （利益率）	3,400 (8.9%)	3,742 (10.0%)	▲342
経常利益 （利益率）	3,500 (9.2%)	3,828 (10.2%)	▲328
当期純利益※ （利益率）	2,050 (5.4%)	2,157 (5.7%)	▲107

	通期予想		
	当期予想	前期実績	増減
設備投資	2,500	2,134	+366
減価償却費	1,500	1,509	▲9
研究開発費	1,600	1,394	+206

※親会社株主に帰属する当期純利益

《営業利益 増減要因》

増減要因	
為替影響	▲220
研究開発費の増	▲200
諸経費等の増	▲200
売上・構成変化等	▲2
原価低減	+280
合計	▲342

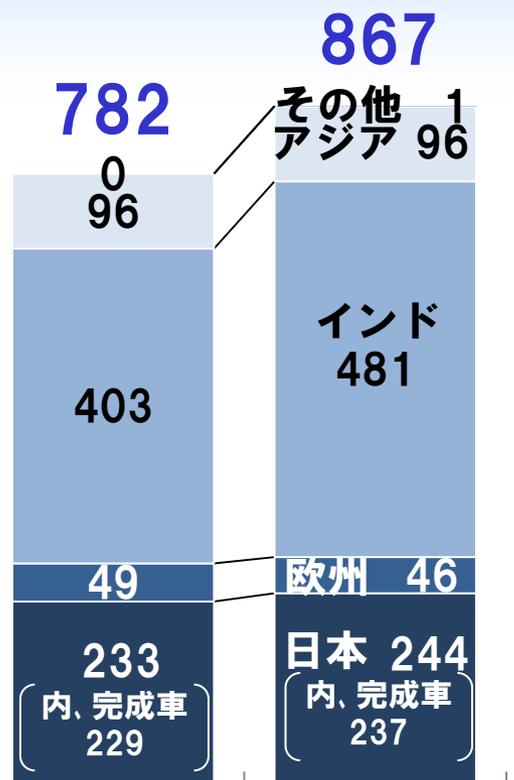
《為替レート・為替影響》

増減要因	通期予想			営業利益 為替影響
	当期予想	前期実績	増減	
米ドル	105円	111円	▲6円	▲37
ユーロ	130円	130円	±0円	+5
インドルピー	1.65円	1.73円	▲0.08円	▲119
インドネシア※	0.78円	0.83円	▲0.05円	▲22
タイバーツ	3.30円	3.36円	▲0.06円	+3
※インドネシアは 100ルピア当り	その他通貨			▲50
	為替影響額 計			▲220

生産、販売ともに第1四半期としては過去最高

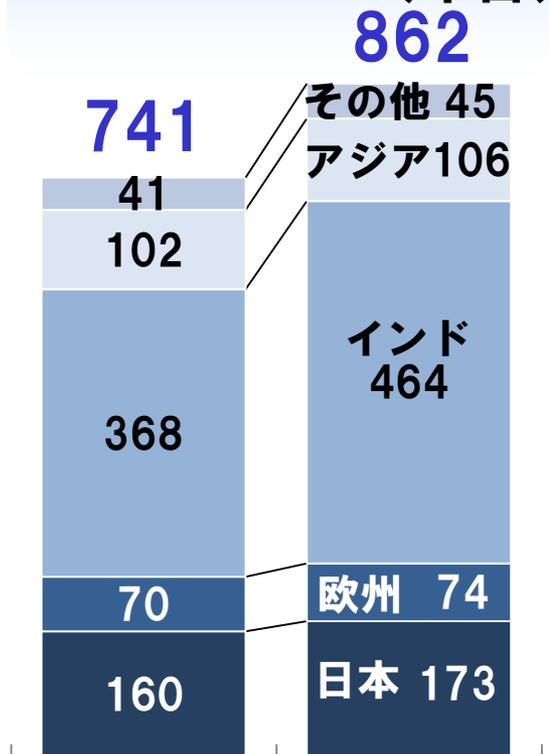
《生産実績》

+86千台 (+11.0%)



《販売実績》

+121千台 (+16.3%)
(千台)



●当期（4～6月）の世界販売

- ・862千台（前年同期比+16.3%）で、過去最高を更新
- ・インド464千台（同+25.9%）
日本 173千台（同+ 8.5%）
欧州 74千台（同+ 5.9%）
- ・インドを除くアジアは
106千台（同+ 4.4%）
(内訳)
タイ 8千台（同+43.0%）
パキスタン 38千台（同+26.7%）
インドネシア 28千台（同+ 9.9%）
中国 18千台（同▲37.3%）
その他 14千台（同+19.1%）

前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6

前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6

2千万台達成は日本に次いで2ヵ国目

- 1983年12月の生産開始から34年5ヵ月での達成は日本の45年9ヵ月を抜いて最速
- 最多生産車種は「アルト」（約317万台）
- 2,000万台目は、グジャラート工場で生産した「スイフト」



「スペーシア」「クロスビー」が貢献

《第1四半期比較》

+14千台（+8.5%）

（千台）

160

27

132

173

登録車
33



軽自動車

140



前年同期
'17/4-6

当第1四半期
'18/4-6

●当期（4～6月）の国内販売

- ・軽自動車は前年同期比+ 5.8%
- ・登録車は前年同期比 +21.5%

●トピックス

- ・5月16日、新型軽トラック「スーパーキャリイ」を発売
- ・5月31日、小型乗用車「スイフト」がJNCAP衝突安全性能評価で最高ランク「ファイブスター賞」受賞



スイフトHYBRID RS
セーフティパッケージ装着車



- ・6月15日、軽四輪車「エブリイ」シリーズが国内累計販売台数300万台達成

（初代）スズライト
キャリイバン
1964年9月発売



EVERY



20年振り全面改良、7月5日より日本で発売開始

●ジムニーについて

- ・1970年に軽自動車で唯一の四輪駆動車（当時）として発売
- ・悪路走破性とコンパクトな車体による取り回しの良さが特長
- ・シリーズ全体で、全世界194の国・地域で、世界累計285万台を販売（2018年3月末現在）

●新型ジムニーについて

- ・湖西工場（静岡県湖西市）で生産し世界に供給
- ・衝突防止など最新の安全装備も充実
- ・ジムニー伝統の車体構成を継承



ラダーフレーム



FRレイアウト



副変速機付
パートタイム4WD



3リンク
リジッドアクスル



「スイフト」「イグニス」「ビターラ」が貢献

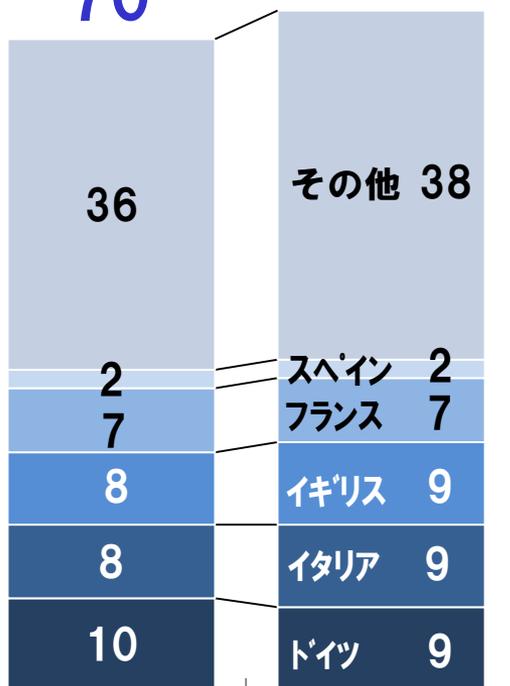
《第1四半期比較》

+4千台（+5.9%）

（千台）

70

74



●当期（4～6月）の欧州販売

- ・ 欧州全体では、「スイフト」、「イグニス」の貢献、「ビターラ」の好調持続等により、前年同期比+5.9%と増加
- ・ ドイツは減少（前年同期比▲10.5%）したものの、スペイン（同+21.9%）、イギリス（同+16.2%）、フランス（同+11.5%）、イタリア（同+3.2%）で増加
- ・ ハンガリーは「ビターラ」の販売拡大により、7千台（同+70.9%）と大幅伸長



前年同期
'17/4-6

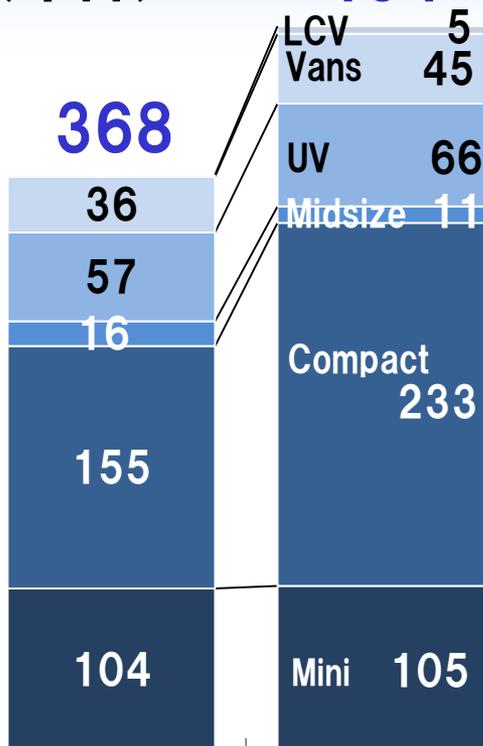
当第1四半期
'18/4-6

インドの販売台数は過去最高を更新

《第1四半期比較》

+95千台（+25.9%）
（千台）

464



●当期（4～6月）のインド販売

- 「スイフト」、「ディザイア」、「バレーノ」などコンパクト、「ビターラ・ブレッツァ」などユーティリティークルの好調により第1四半期として過去最高更新

●トピックス

- 新型「スイフト」が、本年2月8日の発売以来、インド史上最速（145日）で10万台販売達成



- 「ビターラ・ブレッツァ」が2016年3月の発売以来、インド史上最速（28ヵ月）で、30万台販売達成



- 6月27日、経済産業省より「日本式ものづくり学校」の第1号として認定を受けたグジャラート州の職業訓練校マルチ・スズキJIM（Japan-India Institute for Manufacturing）の第1期254名が卒業

前年同期
'17/4-6

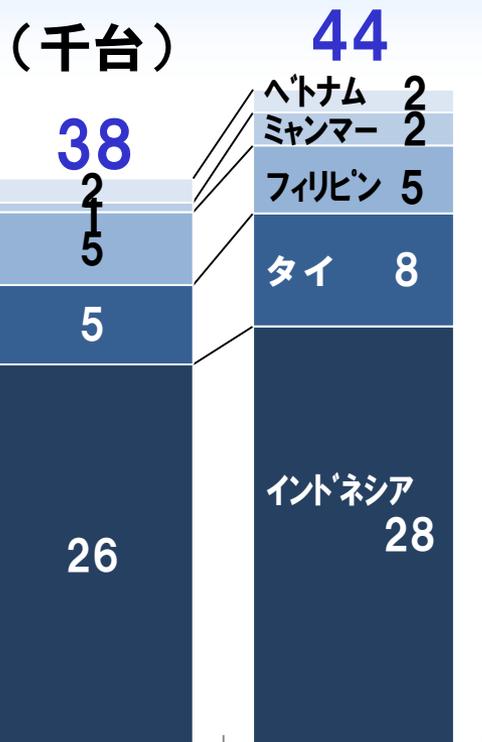
当第1四半期
'18/4-6

※LCV=Light Commercial Vehicles, UV=Utilities Vehicles

インドネシア、タイの販売増により増加

《第1四半期比較》

+6千台（+15.6%）



●当期（4～6月）のアセアン販売

- ・インドネシアは新型「エルティガ」の投入、および商用車の貢献により 前年同期比+9.9%



- ・タイは買換え需要本格化に加え、新型「スイフト」投入により、前年同期比+43.0%
- ・フィリピンは自動車物品税値上げにより前年同期比▲7.3%、6月投入の新型「スイフト」「ディザイア」で挽回目指す
- ・ミャンマーは本年1月、ティラワの新工場にて、乗用車（「エルティガ」「シアズ」）の生産を開始し、前年同期比+245.5%と大幅増加

前年同期
'17/4-6

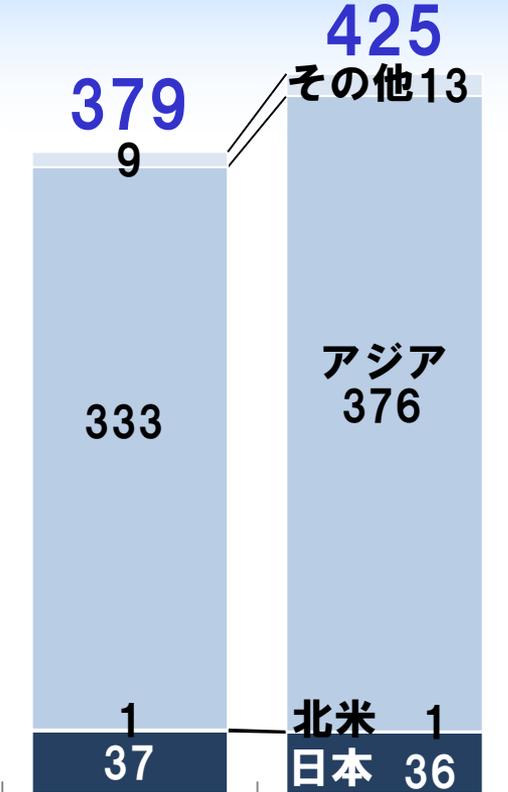
当第1四半期
'18/4-6

※アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム 5ヶ国合計

アジアの増加により生産・販売ともに増加

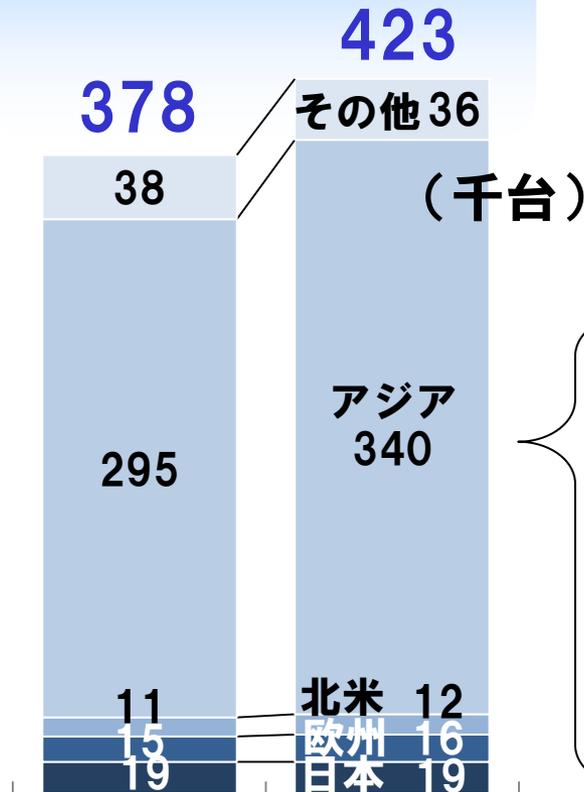
《生産実績》

+46千台 (+12.1%)



《販売実績》

+45千台 (+11.9%)

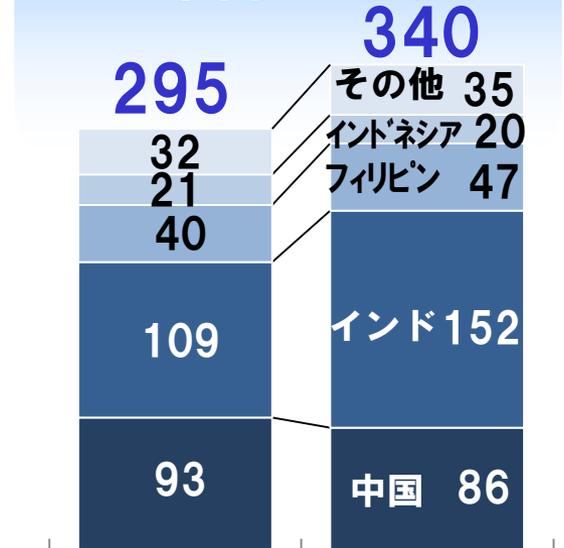


●当期（4～6月）の二輪車

- ・インド、フィリピンなどの増により、生産、販売ともに前年を上回る

《アジアの内訳》

+46千台 (+15.5%)



前年同期 '17/4-6 当第1四半期 '18/4-6

前年同期 '17/4-6 当第1四半期 '18/4-6

前年同期 '17/4-6 当第1四半期 '18/4-6

期初予想を据置き

(千台)	通期生産台数				通期販売台数			
	予想 (18年度)	前期実績			予想 (18年度)	前期実績		
		(17年度)	増減	増減率		(17年度)	増減	増減率
<四輪車>								
日本	981	971	+10	+1.0%	675	668	+7	+1.0%
欧州	173	180	▲7	▲4.0%	280	281	▲1	▲0.3%
アジア	2,257	2,185	+72	+3.3%	2,157	2,093	+64	+3.0%
その他	2	2	▲0	▲12.5%	187	182	+5	+3.0%
合計	3,413	3,338	+75	+2.2%	3,299	3,224	+75	+2.3%
<二輪車>								
日本	135	152	▲17	▲11.3%	64	60	+4	+7.6%
欧州	—	—	—	—	50	40	+10	+25.0%
北米	4	4	▲0	▲6.6%	40	35	+5	+13.5%
アジア	1,496	1,431	+65	+4.5%	1,317	1,261	+56	+4.5%
その他	50	41	+9	+23.1%	175	184	▲9	▲5.0%
合計	1,685	1,628	+57	+3.5%	1,646	1,580	+66	+4.2%

2019年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。